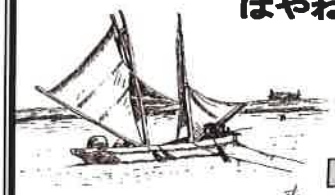
はやね　はやおき　朝ごはん　テレビを止めて外遊び



三角帆

<合言葉>つなごう～みんなの手と手、心と心～

平成２５年度
別海町立野付小学校
学校だより　№１０
平成２５年１２月２０日
発行責任者
校長　音　川　忠　志

＊＊＊２学期、無事に終了。ありがとうございました。＊＊＊

長かった８６日間の２学期が、大きな事故なく無事に終了できました。

子どもたちの様子を見ていますと、各学年「学芸会」で練習の苦労や本気の演技等の中から学級のまとまりがより強くなったように感じます。また、スポ少の大会での活躍、各種作品展での入賞、太鼓の発表等、一人ひとりが自分の得意な分野で活躍しているのが見られた２学期でした。最近では百人一首を毎日熱心に取り組んでおり、子どもたちの頑張りには感心させられます。　　子どもたちの成長が感じられた２学期でした。

＊＊＊年末年始の過ごし方＊＊＊

毎年、国道沿いに増えていく華やかなイルミネーションやクリスマス・お正月用品のセールを見るたびに、１年が過ぎる早さに驚くと共に、年末年始の気ぜわしさが、子どもの頃とは全く違ってきていることを感じます。

私は子どもの頃、大掃除の古い障子の張替えは、楽しみの一つでした。大いばり（？）で障子に穴を開け、でんぷん糊で張替え、最後に祖父から習ったやり方で口から水を霧のように吹きかけ仕上げました。母から毎年聞かされたのは、神棚やしめ飾りは「一夜飾りは神様に失礼だからだめ」２９日の餅つきは「二重苦で縁起が悪いからだめ」というものでした。家族総出で働くことで、年末のちょっと華やいだ気ぜわしさを感じながら、子どもながらにお正月を迎える喜びを感じていったのだと思います。

「年末年始の過ごし方」は、人間の生き方や考え方を支えるほどの大切な体験となるものです。暮れには大掃除をし、年賀状を書く。年が明けたら新しい服や下着をおろす。お雑煮を食べる。お年玉は、全部使わないで貯金する・・・など、私たちが当たり前のように行ってきた習慣や行事は、実はそこに生まれ育つ人として、日本人としての根っこの部分をしっかり作っていく大きな役割があると言われています。

ところが、今の時代はどうかと言うと、一部ではありますが、おせち料理は有名料理店やホテルに頼み、元日から買い物に出かけ、年賀状は表も裏も印刷機に任せになりつつあります。便利さと共に、昔からその地に根ざしていた文化や風習を手放してしまっているようです。それは、子どもにとってもよい環境ではないと思います。

今年の年末年始の過ごし方は、各家庭すでに計画されているとは思いますが、子どもの心の育ちも視野に入れて一工夫していただけるとうれしいです。

校長　音川　忠志

★☆★

インターネットにご注意を！

参観日にお話した内容です。

○１１月２５日（月）の北海道新聞に、**「ＩＤ交換掲示板に注意を」「犯罪被害の危険性高い」（警視庁）**という記事が載っていました。

① ネット上には、ＩＤとともに「友達募集」「遊んで」と書き込む非公認の掲示板が多数存在する。
② ラインなどの無料通信アプリのＩＤを掲示板で教えて、その後アプリで連絡を取り、わいせつなどの被害にあった１８歳未満の子が、１～６月に１１７人いた。
③ 交換から犯行までの日数が、「１週間以内」が５２，２%。驚くのは「当日か翌日」が２７，４%
④ 被害にあった子で「食事をごちそうする」「欲しいものを買ってあげる」との誘いを素直に受け取った子もいる。

周りの大人が気づく間もなく、子どもたちはあっという間に悪い大人の餌食にされてしまうのです。

●今の世の中、インターネットを利用する以上、常にある程度のリスクがあることを考えておかなければなりません。さらに、携帯電話だけではなく、ゲーム機でも通信が可能だということなので、子どもたちの身の回りは危険だらけと言えます。「自分の身は、自分で守る」ことをきちんと考えられる人間になるよう、小学生のうちから、お家で、インターネットに関してのルール作りをしながら、教えていくことが大切だと思います。
子どもたちが被害に会わないように、願っています。